



平塚市・波力発電関連分野での新産業創出促進事業

背景

平塚市では、2016年度から東京大学生産技術研究所や多くの企業と共に、平塚海洋エネルギー研究会を組織し、波力発電の産業化を目指してきた。2020年2月から2年間、環境省事業である平塚波力発電所の海域実証の経験を積み、**プレコマーシャルに進む**。

現状の課題

コスト低減のため新技術の検討を進めているが、試験用の**半導体部品の確保に時間を要している**。事業期間を終えて**海域実証機が撤去されたことにより、波力発電への気運の高まりをプレコマーシャルまで維持する**ことが課題となっている。

事業の目的

平塚を**波力発電研究開発拠点**とし、EV、電池推進船、エネルギーマネジメントなどの周辺技術と組み合わせた**産業化を目指す**と共に、これらに関わる**専門人材の育成、供給をするエコシステムの構築**を目的とする。

これまでの取組

- 平塚海洋エネルギー研究会での波力発電の研究開発（2016年度～）
- 平塚波力発電所の海域実証への協力（2018年度～2021年度）
- ヤフー株式会社「地域カーボンニュートラル促進プロジェクト」**（2021年度）
 - 電池推進船の漁業利用実験（2021年度）

事業内容

- プレコマーシャル段階に進む波力発電の研究開発（主にコストダウンのための新技術開発、海岸保全効果の実証）
- 平塚での次の波力発電の設置に向けた調整（資金獲得、事業計画、適地、地域合意など）
- 周辺・関連技術の開発や社会実装の研究（EV急速充電器、電池推進船、蓄電池、エネルギーマネジメントなど）
- 波力発電の研究開発拠点化を目指した検討

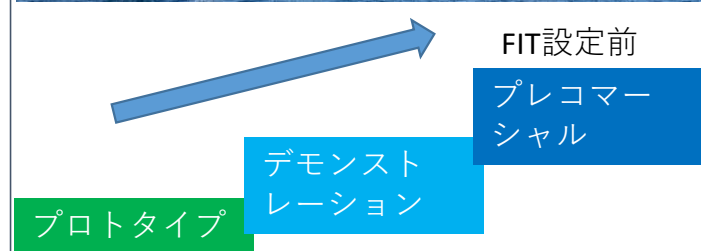
2016年平塚海洋エネルギー研究会発足



平塚波力発電所 環境省事業



平塚新港 撮影：(株)東京久栄





平塚市・波力発電関連分野での新産業創出促進事業

得られる
成果等

成果・目標

波力発電（再生可能エネルギー電源）の社会実装、全国への展開。
波力発電×電池推進船、波力発電での海岸保全、漁港エリアのカーボンニュートラル化等の実現

寄附を
する
メリット
等

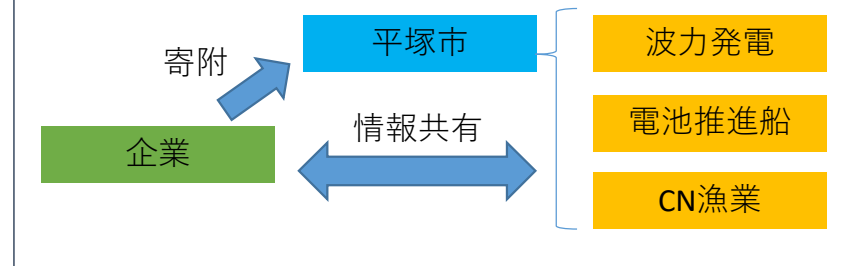
開発段階から社会実装までの中長期的なプロジェクトへの支援

実績：2021年度
ヤフー株式会社様から2,400万円の寄附
カーボンニュートラルを目指したプロジェクトの実施

企業のメリット

- 世界中で開発競争を行っている**波力発電の最新動向**がわかる。
- **社会的活動のPR**：テレビ、新聞等のメディアに企業版ふるさと納税による事業として取材・報道された実績あり。
- 平塚海洋エネルギー研究会等のメンバーとの**ネットワーキング**。

企業との連携イメージ



連絡先

平塚市産業振興部産業振興課
産業活性化担当

TEL 0463-21-7958

sangyo-s@city.hiratsuka.kanagawa.jp